

消費

1 全世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）（2006年11月）

（1）前年同月比：1年11か月連続のマイナス（3か月移動平均）

		消費支出額 a	住居の設備修繕・維持 +自動車等購入費 +仕送り金 b	消費支出額 (除く自動車等購入等) a - b		消費支出額 (除く自動車等購入等) (3か月移動平均)	
					前年同月比		前年同月比
平成17年	12月	334,509	35,967	298,542	▲ 3.6	264,166	▲ 7.4
平成18年 (2006)	1月	267,662	14,683	252,979	▲ 8.7	258,331	▲ 6.3
	2月	243,918	20,445	223,473	▲ 6.9	242,038	▲ 9.0
	3月	276,470	26,808	249,662	▲ 11.2	240,896	▲ 8.6
	4月	277,420	27,867	249,553	▲ 7.5	250,421	▲ 6.2
	5月	275,522	23,474	252,048	1.0	245,048	▲ 3.7
	6月	247,265	13,722	233,543	▲ 4.2	244,431	▲ 2.9
	7月	275,291	27,588	247,703	▲ 5.2	248,239	▲ 3.2
	8月	287,192	23,721	263,471	▲ 0.2	248,950	▲ 2.5
	9月	253,523	17,848	235,675	▲ 2.2	248,639	▲ 3.6
	10月	276,497	29,727	246,770	▲ 8.2	242,736	▲ 3.0
	11月	264,905	19,143	245,762	2.0	266,308	▲ 1.2
		12月	339,547	33,156	306,391	2.6	...

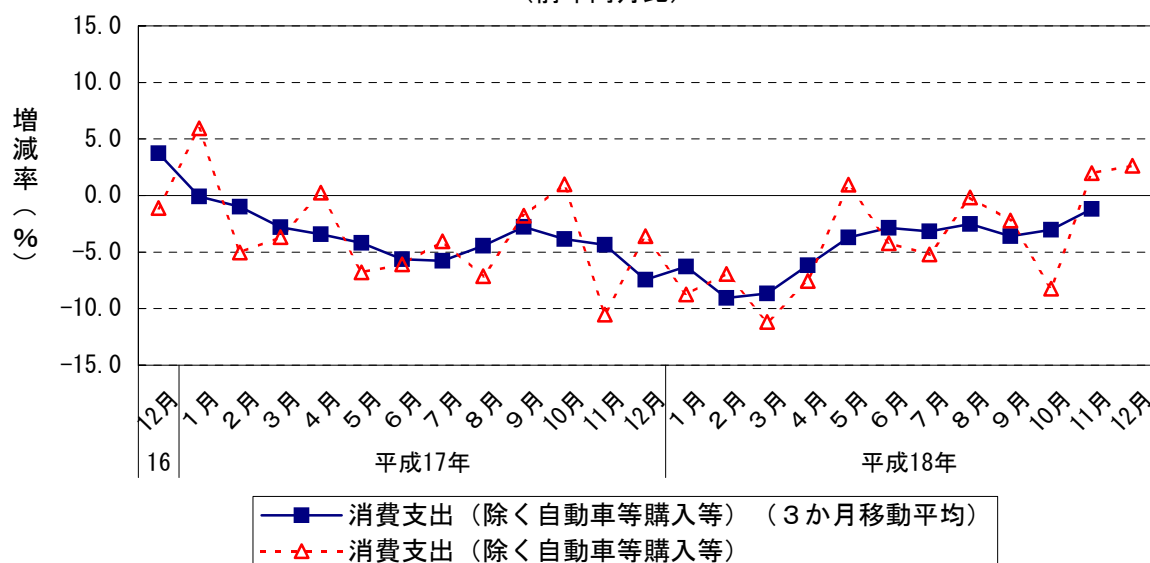
資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※農林漁家世帯を除く

※消費支出額（除く自動車等購入等）とは、消費支出総額から振れが大きい「自動車等購入」や「住居の設備修繕・維持」、「仕送り金」を除外した額である。

全世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）の推移
(前年同月比)



消費

2 全世帯サービス支出額（九州）（2006年11月）

（1）前年同月比：1年9か月連続のマイナス（3か月移動平均）

		サービス支出			財支出		
			3か月移動平均 前年同月比	うち教養娯楽 サービス支出	3か月移動平均 前年同月比	3か月移動平均 前年同月比	
平成17年	12月	104,416	▲ 7.1	13,227	▲ 16.3	186,473	▲ 2.2
平成18年 (2006)	1月	91,805	▲ 7.6	13,148	▲ 2.7	130,482	▲ 0.6
	2月	86,844	▲ 10.7	12,800	3.9	127,978	▲ 6.7
	3月	92,344	▲ 11.9	14,934	0.2	140,398	▲ 8.9
	4月	98,882	▲ 7.4	14,367	4.8	128,742	▲ 7.3
	5月	100,948	▲ 5.3	16,680	▲ 0.6	136,297	▲ 5.3
	6月	88,471	▲ 3.2	13,684	▲ 4.8	125,234	1.6
	7月	91,256	▲ 5.1	13,317	▲ 8.0	149,281	1.4
	8月	98,844	▲ 4.5	18,015	▲ 6.1	144,143	0.6
	9月	93,893	▲ 3.8	13,386	0.7	126,163	▲ 4.3
	10月	103,429	▲ 4.9	17,510	0.7	131,781	▲ 5.1
	11月	97,800	▲ 0.8	14,557	8.5	134,891	▲ 3.4
	12月	114,113	…	16,302	…	181,489	…

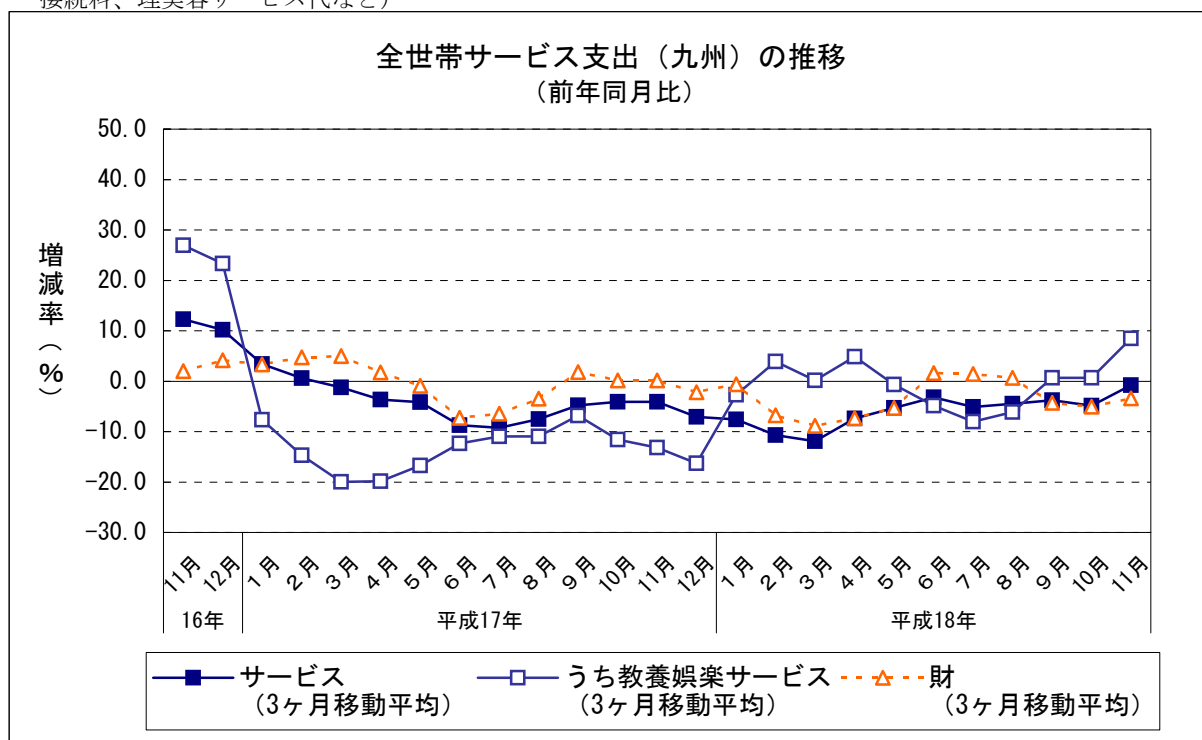
資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※農林漁家世帯を除く

※一世帯当たり1か月の品目別支出金額

※サービス支出……財（商品）の購入以外のサービスへの支出（例：外食、家賃、運賃、通信料、宿泊料、バック旅行費、月謝、放送受信料等、映画・演劇・スポーツ等入場料、スポーツクラブ会費、インターネット接続料、理美容サービス代など）



消費

3 百貨店販売額（全店ベース）（2006年12月）

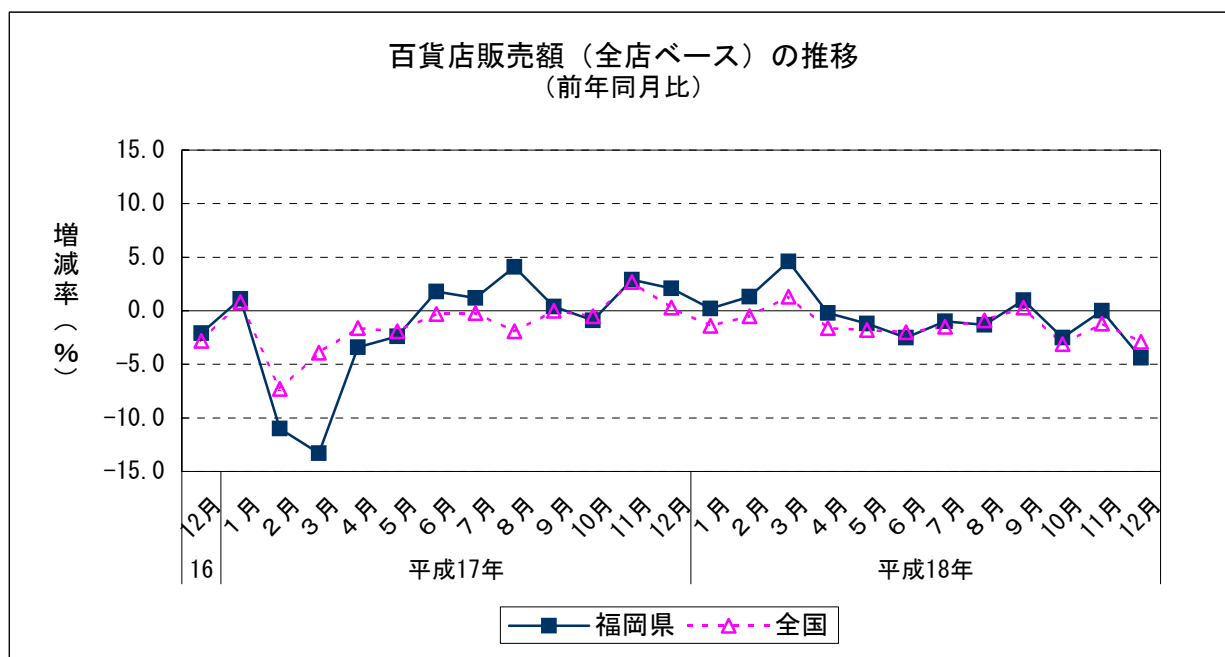
- (1) 前年同月比：3か月連続のマイナス
- (2) 品目別の前年同月比
 プラス：その他（4か月連続）
 マイナス：衣料品（3か月連続）、身の回り品（3か月連続）
 家庭用品（9か月連続）、食料品（5か月ぶり）
- (3) 四半期ごとの前年同月比（2006年10～12月）：3期連続のマイナス
- (4) 前年比（2006年）：4年連続のマイナス

		百貨店販売額	前年同月比
平成17年	12月	44,041	2.1
	1月	31,648	0.2
平成18年 (2006)	2月	24,517	1.3
	3月	31,140	4.6
	4月	27,670	▲ 0.2
	5月	27,640	▲ 1.2
	6月	25,677	▲ 2.5
	7月	36,125	▲ 1.0
	8月	24,835	▲ 1.3
	9月	25,451	1.0
	10月	28,949	▲ 2.5
	11月	30,086	▲ 0.0
12月	p 42,122	▲ 4.4	

		百貨店販売額	前年同期比
平成17年 (2005)	1～3月	85,560	▲ 7.8
	4～6月	82,029	▲ 1.4
	7～9月	86,856	1.8
	10～12月	103,832	1.5
平成18年 (2006)	1～3月	87,305	2.0
	4～6月	80,987	▲ 1.3
	7～9月	86,411	▲ 0.5
	10～12月	101,157	▲ 2.6

	百貨店販売額	前年比
平成16年(2004)	363,622	▲ 0.9
平成17年(2005)	358,277	▲ 1.5
平成18年(2006)	355,860	▲ 0.7

資料出所：九州経済産業局「九州大型小売店販売動向」、九州百貨店協会「九州・沖縄地区百貨店売上高状況」
 販売額単位：百万円
 pは速報値



消費

4 百貨店販売額（既存店ベース）（2006年12月）

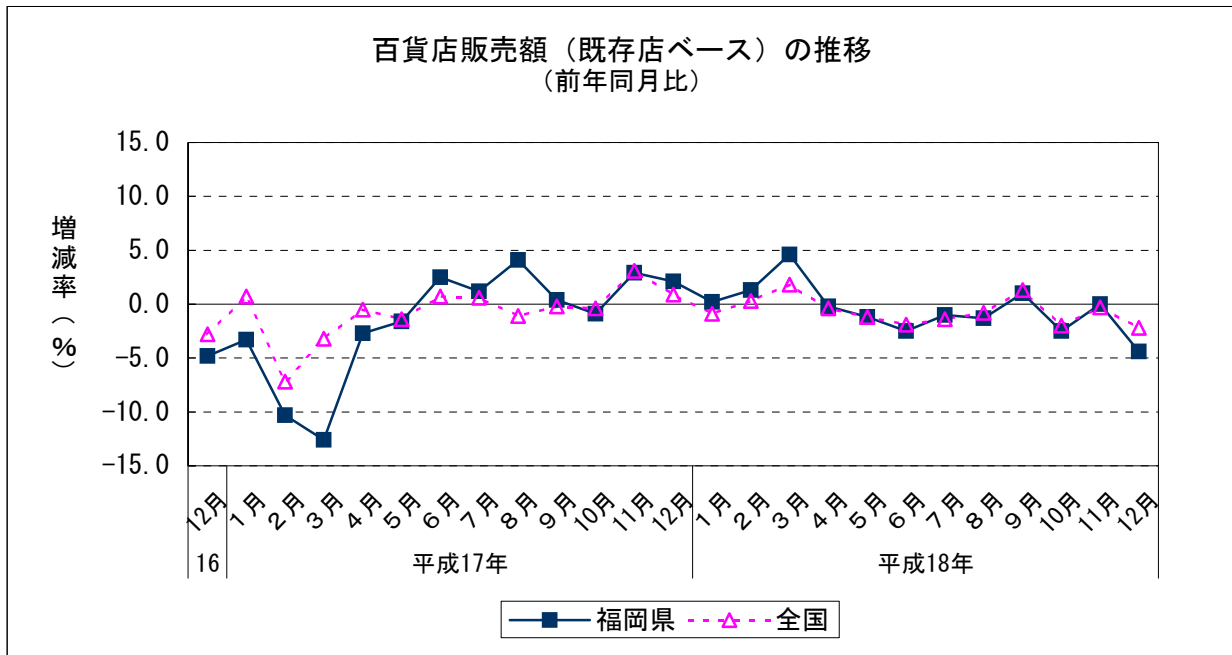
(1) 前年同月比：3か月連続のマイナス

		前年同月比
平成17年	12月	2.1
	1月	0.2
平成18年 (2006)	2月	1.3
	3月	4.6
	4月	▲ 0.2
	5月	▲ 1.2
	6月	▲ 2.5
	7月	▲ 1.0
	8月	▲ 1.3
	9月	1.0
	10月	▲ 2.5
	11月	▲ 0.0
12月	▲ 4.4	

		前年同期比
平成17年 (2005)	1～3月	▲ 8.8
	4～6月	▲ 0.7
	7～9月	1.8
	10～12月	1.5
平成18年 (2006)	1～3月	2.0
	4～6月	▲ 1.3
	7～9月	▲ 0.5
	10～12月	▲ 2.6

	前年比
平成16年(2004)	▲ 5.1
平成17年(2005)	▲ 1.6
平成18年(2006)	▲ 0.7

資料出所：九州経済産業局「九州大型小売店販売動向」
 ※既存店ベースの百貨店販売額の金額は公表されていない



消費

5 スーパー販売額（2006年12月）

(1) 前年同月比：全店ベースで3か月連続のマイナス

		スーパー 販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
平成17年	12月	40,337	1.8	3.5
平成18年 (2006)	1月	30,438	▲7.4	▲7.4
	2月	24,525	▲5.7	▲5.9
	3月	28,113	▲1.0	▲1.6
	4月	28,842	▲3.8	▲1.2
	5月	29,033	▲1.8	▲1.4
	6月	28,572	▲2.0	▲0.1
	7月	31,577	▲3.1	▲1.8
	8月	30,255	▲0.4	1.2
	9月	27,010	0.6	2.7
	10月	28,605	▲5.3	▲2.1
	11月	27,837	▲0.7	▲1.4
	12月	p 38,961	▲3.4	▲7.9

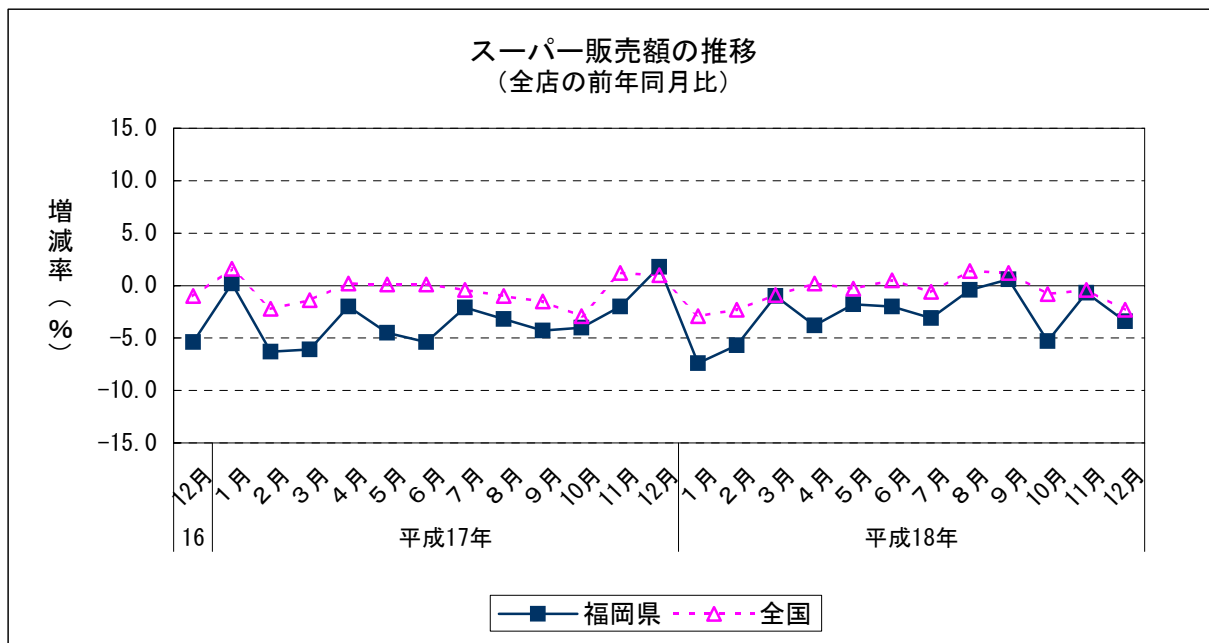
		スーパー 販売額	前年同月比 (全店)
平成17年 (2005)	1～3月	87,296	▲3.9
	4～6月	88,715	▲4.0
	7～9月	89,813	▲3.1
	10～12月	98,597	▲1.2
平成18年 (2006)	1～3月	83,076	▲4.8
	4～6月	86,447	▲2.6
	7～9月	88,842	▲1.1
	10～12月	95,403	▲3.2

	スーパー販売額	前年比(全店)
平成16年(2004)	375,686	▲4.2
平成17年(2005)	364,420	▲3.0
平成18年(2006)	353,768	▲2.9

資料出所：九州経済産業局「九州大型小売店販売動向」

販売額単位：百万円

pは速報値



消費

6 コンビニエンス・ストア販売額（九州）（2006年12月）

（1）前年同月比：既存店ベースで6か月連続のマイナス

		販売額	前年同月比
平成17年	12月	540	▲ 3.5
	1月	489	▲ 3.6
平成18年 (2006)	2月	451	▲ 2.9
	3月	513	▲ 2.6
	4月	489	▲ 5.0
	5月	508	▲ 3.6
	6月	513	0.4
	7月	541	▲ 4.9
	8月	561	▲ 1.3
	9月	503	▲ 4.6
	10月	512	▲ 1.8
	11月	488	▲ 2.1
	12月	545	▲ 0.6

		販売額	前年同期比
平成17年 (2005)	1～3月	1,431	▲ 2.2
	4～6月	1,505	▲ 1.2
	7～9月	1,634	▲ 2.4
	10～12月	1,543	▲ 3.9
平成18年 (2006)	1～3月	1,453	▲ 3.1
	4～6月	1,510	▲ 2.8
	7～9月	1,606	▲ 3.6
	10～12月	1,545	▲ 1.5

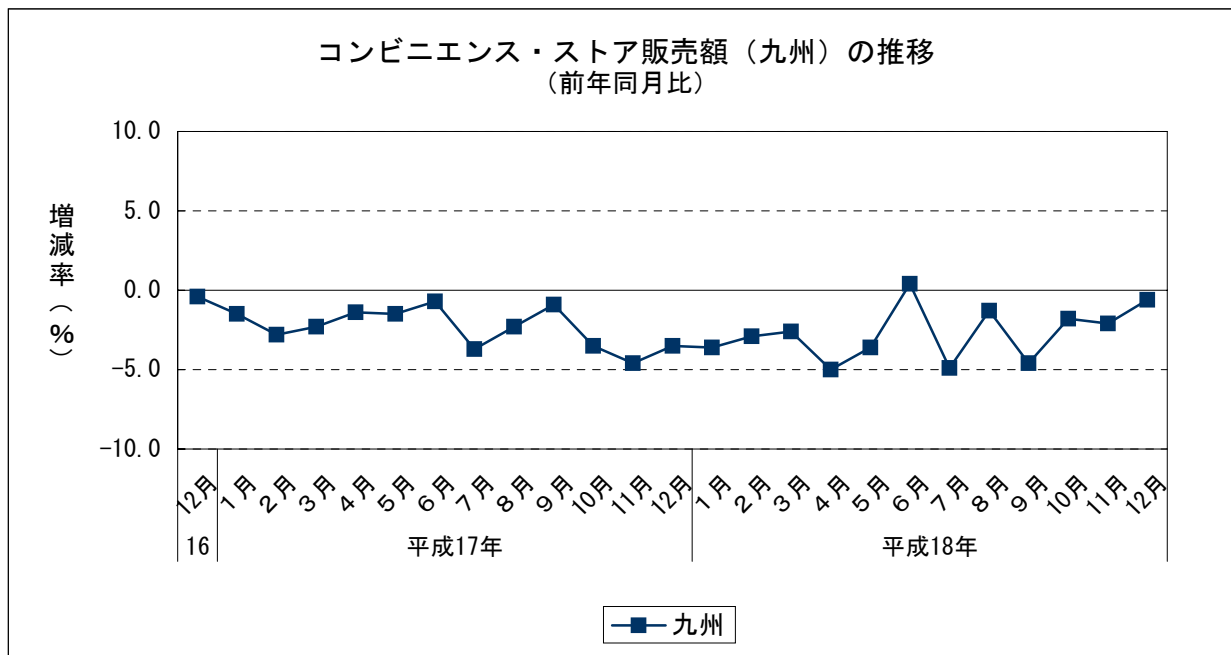
	販売額	前年比
平成16年(2004)	5,985	▲ 0.8
平成17年(2005)	6,113	▲ 2.4
平成18年(2006)	6,115	▲ 2.7

資料出所：九州経済産業局「九州コンビニエンス・ストア販売動向」

販売額単位：億円

※1 販売額は全店ベース、前年同月比、前年同期比及び前年比は既存店ベース

※2 平成16年商業統計調査（経済産業省）によると、九州のコンビニエンス・ストア販売額に占める福岡県のシェアは47.2%



消費

7 新車登録台数（2007年1月）（普通車，小型車，軽自動車）

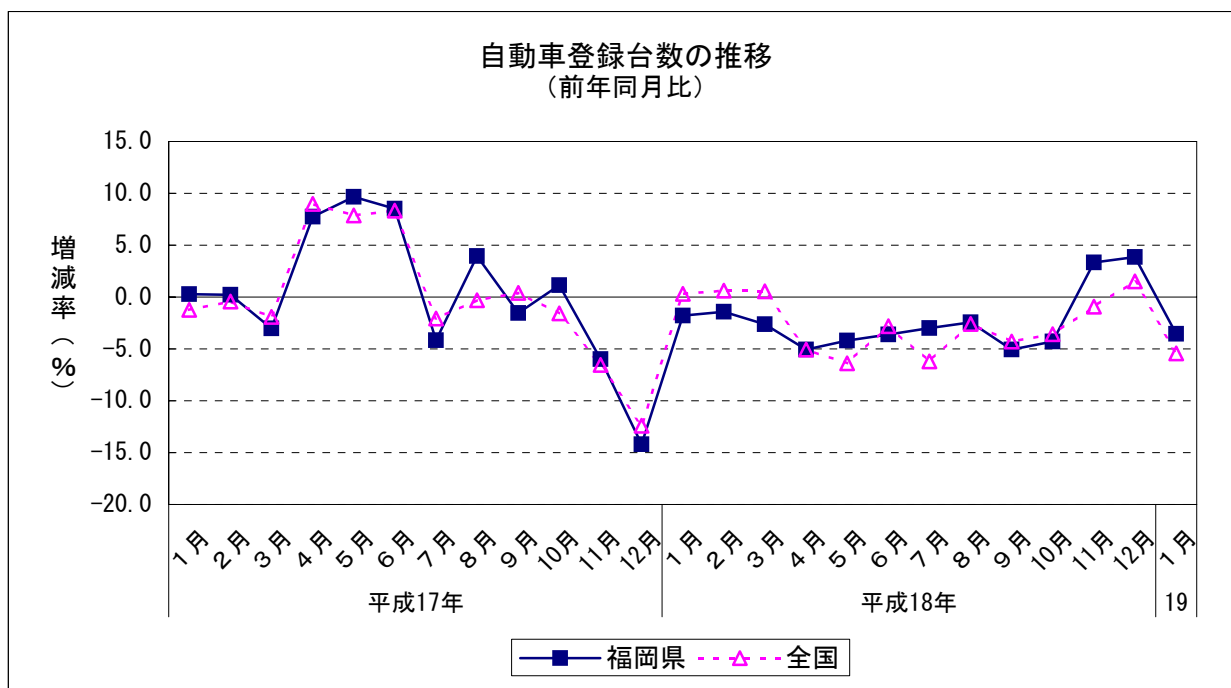
(1) 前年同月比：3か月ぶりのマイナス

		新車登録台数	前年同月比
平成18年 (2006)	1月	12,810	▲ 1.8
	2月	17,247	▲ 1.4
	3月	25,118	▲ 2.6
	4月	11,542	▲ 5.1
	5月	12,303	▲ 4.2
	6月	15,106	▲ 3.6
	7月	15,349	▲ 3.0
	8月	11,423	▲ 2.4
	9月	16,546	▲ 5.1
	10月	12,073	▲ 4.3
	11月	14,208	3.3
	12月	12,720	3.9
平成19年	1月	12,355	▲ 3.6

		新車登録台数	前年同期比
平成17年 (2005)	1～3月	56,336	▲ 1.3
	4～6月	40,675	8.6
	7～9月	44,961	▲ 1.1
	10～12月	38,613	▲ 6.7
平成18年 (2006)	1～3月	55,175	▲ 2.1
	4～6月	38,951	▲ 4.2
	7～9月	43,318	▲ 3.7
	10～12月	39,001	1.0

	新車登録台数	前年比
平成16年(2004)	181,355	▲ 0.8
平成17年(2005)	180,585	▲ 0.4
平成18年(2006)	176,445	▲ 2.3

資料出所：福岡県自動車販売店協会，福岡県軽自動車協会



消費

8 新車登録台数の内訳（2007年1月）

(1) 前年同月比

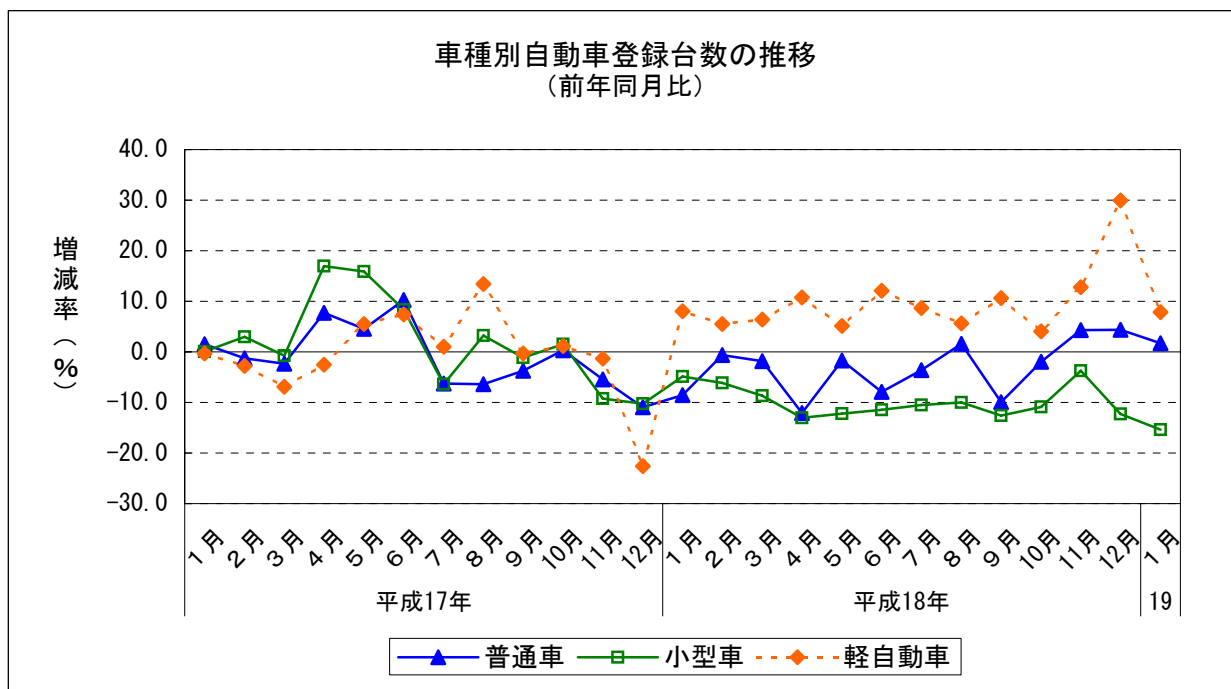
普通車：3か月連続のプラス

小型車：1年3か月連続のマイナス

軽自動車：1年1か月連続のプラス

		普通車	前年同月比	小型車	前年同月比	軽自動車	前年同月比
平成18年 (2006)	1月	2,946	▲ 8.6	5,508	▲ 4.9	4,356	8.0
	2月	3,921	▲ 0.7	7,799	▲ 6.1	5,527	5.5
	3月	6,044	▲ 1.9	11,068	▲ 8.6	8,006	6.4
	4月	2,510	▲ 12.1	4,649	▲ 13.0	4,383	10.7
	5月	2,925	▲ 1.7	5,033	▲ 12.2	4,345	5.1
	6月	3,574	▲ 7.9	6,328	▲ 11.5	5,204	12.1
	7月	3,447	▲ 3.6	6,566	▲ 10.5	5,336	8.7
	8月	2,584	1.6	4,835	▲ 10.0	4,004	5.6
	9月	3,801	▲ 9.9	7,019	▲ 12.6	5,726	10.6
	10月	2,755	▲ 2.0	5,281	▲ 10.9	4,037	4.1
	11月	3,587	4.3	5,885	▲ 3.7	4,736	12.8
	12月	3,470	4.4	4,869	▲ 12.3	4,381	30.0
平成19年	1月	2,996	1.7	4,662	▲ 15.4	4,697	7.8

資料出所：福岡県自動車販売店協会，福岡県軽自動車協会



消費

9 中古車販売台数（2006年11月）（普通，小型，軽乗用車）

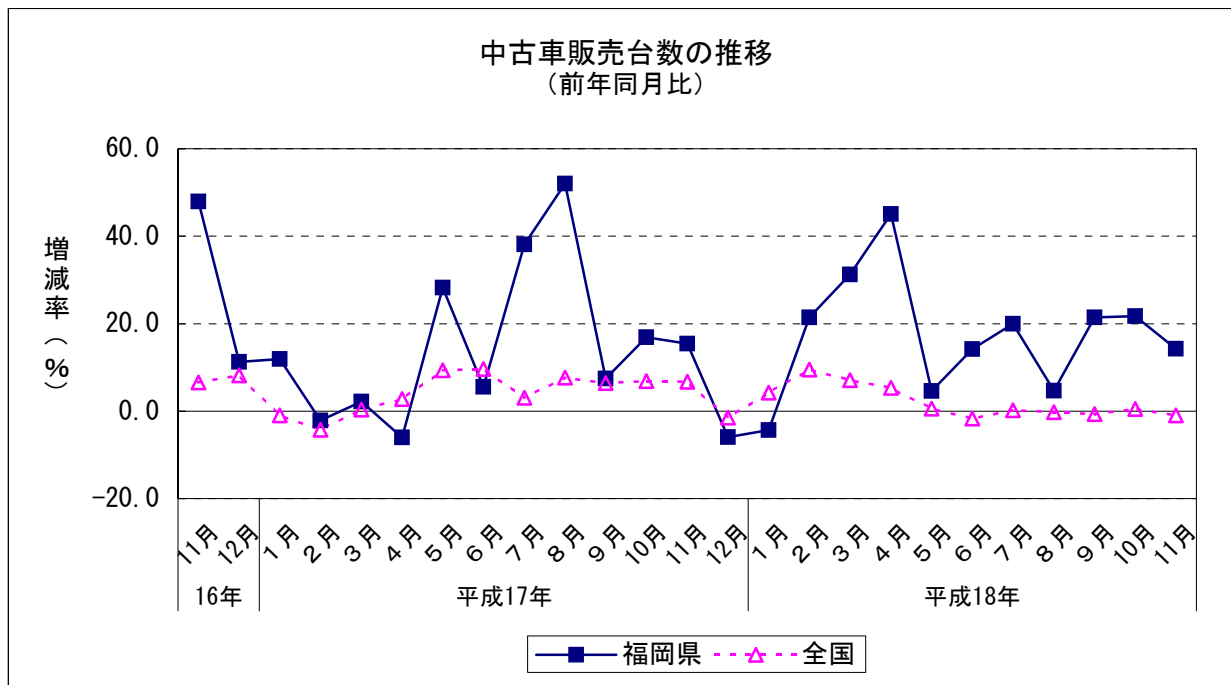
(1) 前年同月比：10か月連続のプラス

		中古車販売台数	前年同月比
平成17年 (2005)	11月	5,829	15.4
	12月	5,119	▲ 6.0
平成18年 (2006)	1月	5,074	▲ 4.3
	2月	6,368	21.4
	3月	9,592	31.2
	4月	7,681	45.0
	5月	5,813	4.6
	6月	6,028	14.2
	7月	7,098	19.9
	8月	5,809	4.6
	9月	6,062	21.5
	10月	6,892	21.7
	11月	6,661	14.3

		中古車販売台数	前年同期比
平成16年	10~12月	15,339	21.3
平成17年 (2005)	1~3月	17,858	3.5
	4~6月	16,131	7.7
	7~9月	16,460	30.8
	10~12月	16,610	8.3
平成18年 (2006)	1~3月	21,034	17.8
	4~6月	19,522	21.0
	7~9月	18,969	15.2

	中古車販売台数	前年比
平成15年(2003)	61,373	▲ 10.3
平成16年(2004)	60,146	▲ 2.0
平成17年(2005)	67,059	11.5

資料出所：福岡県自動車販売店協会

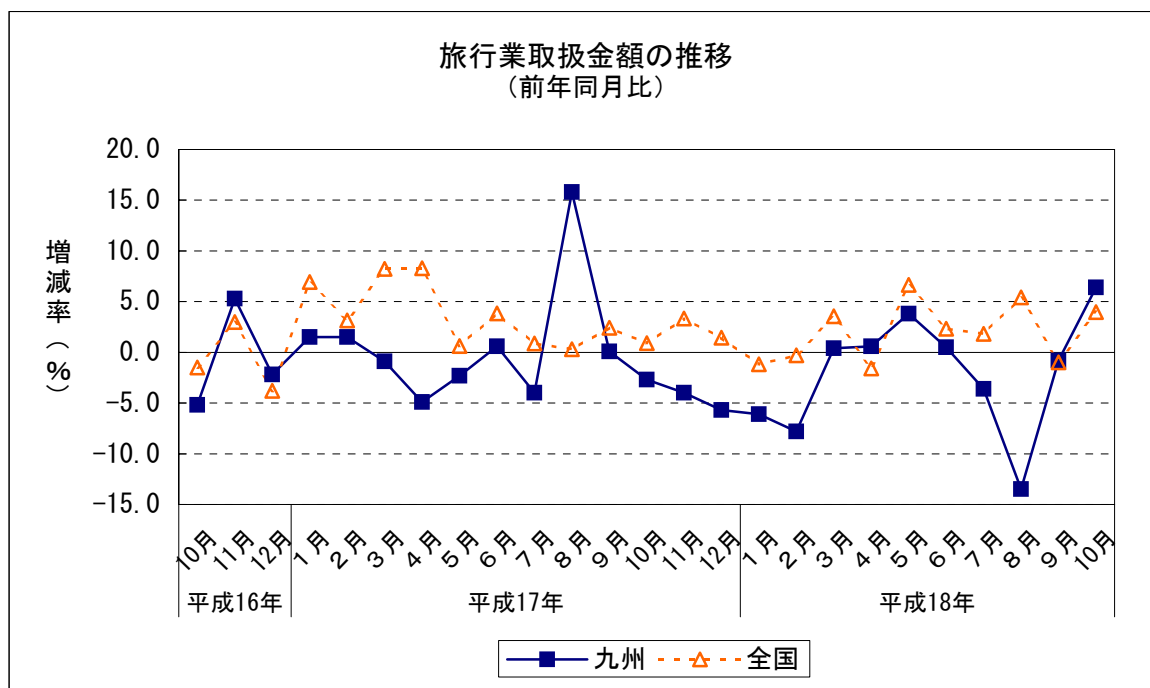


消費

10 旅行業取扱額（2006年10月）（九州7県主要5社の合計） （1）前年同月比：4か月ぶりのプラス

		旅行業取扱額	前年同月比	国内旅行	前年同月比	海外旅行	前年同月比
平成17年 (2005)	10月	20,303	▲ 2.7	15,917	▲ 2.0	4,386	▲ 5.3
	11月	20,324	▲ 4.0	15,683	▲ 1.2	4,641	▲ 12.2
	12月	17,641	▲ 5.7	13,183	▲ 6.0	4,458	▲ 4.8
平成18年 (2006)	1月	14,749	▲ 6.1	12,054	▲ 5.4	2,695	▲ 9.2
	2月	15,381	▲ 7.8	12,007	▲ 8.6	3,374	▲ 4.9
	3月	18,650	0.4	14,193	▲ 0.8	4,457	4.5
	4月	15,092	0.6	11,502	▲ 1.7	3,590	8.7
	5月	16,603	3.8	12,404	0.5	4,199	15.0
	6月	15,516	0.5	10,765	▲ 5.7	4,751	18.0
	7月	17,632	▲ 3.6	13,061	▲ 8.1	4,571	12.1
	8月	20,122	▲ 13.5	14,338	▲ 22.1	5,784	19.1
	9月	18,342	▲ 0.8	13,060	▲ 3.7	5,282	7.0
	10月	21,608	6.4	16,251	2.1	5,357	22.1

資料出所：九州運輸局「九州のうんゆ」、国土交通省「国土交通月例経済」
取扱額単位：百万円



消費

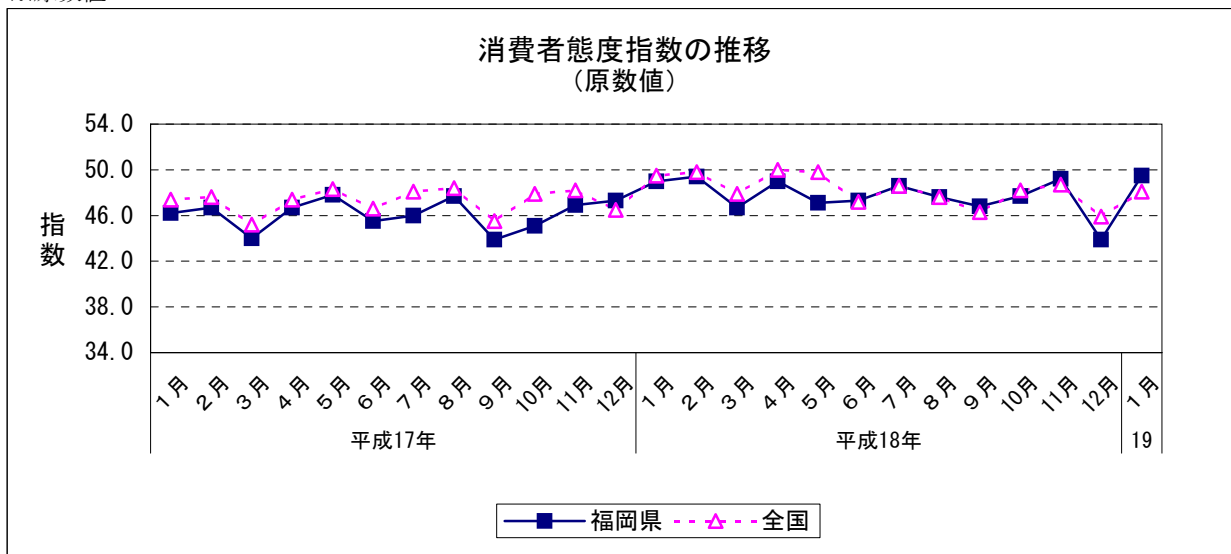
1.1 消費者マインド

(1) 消費者態度指数（1月）

1月の消費者態度指数は49.5となった。

		消費者態度指数	前月差
平成18年 (2006)	1月	49.0	1.7
	2月	49.4	0.4
	3月	46.7	▲ 2.7
	4月	49.0	2.3
	5月	47.1	▲ 1.9
	6月	47.3	0.2
	7月	48.6	1.3
	8月	47.6	▲ 1.0
	9月	46.8	▲ 0.8
	10月	47.7	0.9
	11月	49.2	1.5
	12月	43.9	▲ 5.3
平成19年	1月	49.5	5.6

※原数値



資料出所：内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査」

注1) 調査の概要

(1) 調査時期

毎月15日に実施

(2) 調査対象

全国の一般世帯のうち、外国人・学生・施設入居者世帯を除く約3,400万世帯から選定した5,040世帯調査客体5,040世帯のうち、有効回答客体4,060世帯、有効回答率80.6%

(3) 消費者態度指数の作成方法

①「暮らし向き」、「収入の増え方」、「雇用環境」、「耐久消費財の買い時判断」の4項目について消費者の意識を調査する。

②各調査項目ごとに消費に及ぼす効果に応じて、5段階評価にそれぞれ点数を与え、次のようにして各調査項目ごとの消費者意識指標を算出する。

消費者意識指標・消費にプラスな回答区分「良くなる」に(+1)、「やや良くなる」に(+0.75)、中立な回答区分「変わらない」に(+0.5)、マイナスになる回答区分「やや悪くなる」に(+0.25)、「悪くなる」に(0)の評価を与え、これを各回答区分の構成比(%)に乘じ、合計したもの。

③これら4項目の消費者意識指標(原数値)を単純平均して消費者態度指数(原数値)を算出する。

注2) 消費者態度指数は、消費者のマインド(購買意欲)の強弱を表す指標で数値が高いほどマインドは強いといえる。消費者態度指数は実際の消費に先立って動くこととされ、消費の先行指標として注目されている。

注3) 福岡県の数値は、消費動向調査の結果を都道府県別に集計した値である。

当県の値は標本規模も小さい(180)ことなどから、全国に比べ誤差が大きい。